

**WSAVAバーミンガムAssemblyMeeting(2012年4月10日
AM9~PM5)報告書**

新しくWSAVAに加入した国・団体の代表者紹介

1 1 団体の新代表者の紹介があり、WSAVA Representative/代表者 (WSAVA General Member) として SJCAP 鷺巣先生が紹介され、拍手で迎えられた。

脱退団体：

ジャマイカが WSAVA から脱退。

WSAVA年次大会開催地について：

2013年3月6日～9日：ニュージーランド・オークランド

2014年9月16日～19日：南アフリカ・ケープタウン

2015年5月18日～21日：タイ・バンコック

2016年：アメリカ・オーランド (AAHA アメリカ動物病院協会年次大会と合同開催したいとの立候補があり、承認された。NAVC ノースアメリカンはスポンサーとして参加)

WSAVA新理事の承認：

新会長：Dr. Peter Ihrke (アメリカ)

次期会長：Dr. Colin Burrows (アメリカ)

新副会長：Dr. Walt Ingwersen(カナダ) (ウルグアイの Dr. Quintana は落選)

理事&新 PR・コミュニケーション委員長：DR. Siraya Chunekamrai (タイ)

会計報告：

- ・ WSAVA2011 韓国 (2011年10月・済州島開催)は、参加者は50ヶ国、計3,577人(韓国人は2,280、日本人238人)、2万円の黒字で無事に終了。
- ・ 事務局からのコメントがあった。「年会費をなかなか納めない団体が存在し、会員数を少なく報告して支払う年会費を少なく抑えようとする団体も出てきたりして、とても残念に思う。WSAVA に貢献しようという気持ちを大切にしたい。」
- ・ 2011年度の収入は\$741,705(\$1=¥80.4で計算すると¥59,644,208)、支出を差し引くと\$174,419(¥14,025,904)の黒字。収入の内訳はプロジェクト/基金

スポンサーが 50%、年次大会スポンサー料・参加費が 29%、マネージメント料が 9%、会員の年会費(メンバーシップ)はわずかで 5%。銀行預金残高は \$998,217(¥80,271,621)。

- プロジェクト/基金スポンサー(複数年にまたがる)の内訳は、Renal Standardisation Project - \$218,940 (器具 \$70,946価値を含む)、Global Pain Council Fund - \$40,965、One Health Initiative Fund - \$37,151、Hereditary Defect Project Fund - \$45,183、Website Development Fund - \$28,999、Animal Wellness/Welfare Initiative Fund - \$32,955、Continuing Education Fund - \$62,880、Vaccination Fund B- \$82,578

承認された 2012 年修正予算案：

スポンサー料\$275,880、利息\$1,000、賞\$17,600、会費\$62,000、年次大会\$50,000、年次大会/英国小動物協会マネージメント取替\$30,000、マネージメント料\$40,020、収入計 476,500、支出 \$522,280、\$45,780(¥3,680,712)の赤字。

General Member本会員・加入申請に対する投票：

- ベラルーシ Belarusian Republic Association of Doctors of Veterinary Medicine Unproductive Animals は、代表者が母国語でスピーチした。ロシア代表がそのスピーチを通訳し、投票の結果承認された。フロアからは「WSAVA メンバーが、近隣友好国の団体を WSAVA メンバーになるためにこの様な形で協力することは良い事だ」とのコメントがあった。
- トルコ Clinician Veterinary Medical Association of Turkey(2012 年 1 月設立、2012 年 3 月 WSAVA へ加入申請)は、プレゼン内容が組織紹介よりも代表の個人的事柄に終始(理念/目的などがきちんと示されず)、かつ WSAVA 既存のトルコ加入団体である Turkish Small Animal Veterinary Association がフロアで猛反発、承認しない様に抗議し会議が紛糾、最終的に「2013 年までにトルコ国内で話し合い、連盟など統合協力を試みる。それでも解決せず、CVMAT がまだ熱意あり加入申請すれば 2013 年の WSAVA アセンブリー会合で投票採決する。」という修正動議が出され承認され今回 CVMAT の加入申請は棚上げされ投票されなかった (SJCAP は修正動議の賛成・反対には投票せずペンディング「国に持ち帰り後日意思表示する」とした)。フロアからは「自国で解決しろと突き放すのは、WSAVA として主体性放棄ではないか。WSAVA 自体が、加入申請に対してきちんと評価判断することが大事だ」と、この修正動議を懸念するコメントも出された。

Affiliate Member 準加盟団体・加入申請に対する投票：

・International Federation for Animal Health が準加盟団体として承認された。WSAVA 本来の目的がずれてくるのではないかとの危惧を感じるメンバーもあり、反対するメンバーも少なからずあったのは特筆すべき。

Strategic Plan 戦略プラン：

・WSAVA バーミンガム期間中、戦略会議開催。本会員代表者は出席可能。中長期的な WSAVA としての方向性を話し合い、より開かれた良い WSAVA を目指す。

次回 WSAVA Assembly Meeting 総会日程：

・2013年3月5日、WSAVA Auckland, New Zealandにて開催

総会の全体的な印象

WSAVA加盟団体が昨年以来急増してきていることから、ヨーロッパおよびアジアにおける同団体の存在価値および影響力が非常に強化されてきている。昨年はAVMAおよびOIEなどの獣医界を指導する団体そしてNAVCなどのアメリカにおけるコンフェレンス開催団体の加盟、そして本年度はInternational Federation for Animal Health (IFAH) が非営利団体としてアメリカのDr.Deerなどがサポートして入会している。WSAVAの今後の方向性の中に政治・経済の影が見えてきたことに注意する必要があると思われる。